

EU Indicators

欧州経済指標コメント：3月英国労働統計

発表日：2014年3月20日(木)

～賃金が物価に追いついてきた～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

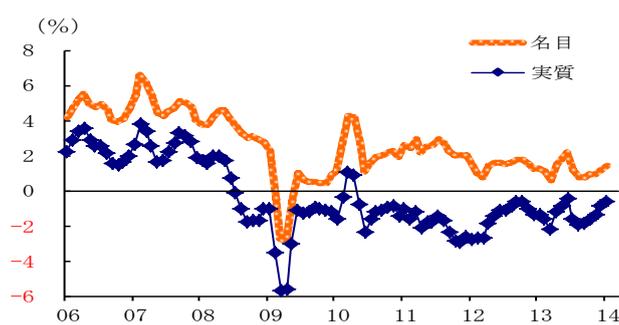
- 19日に発表された昨年11月～今年1月平均の失業率（労働力調査）は7.2%と前月（10-12月平均）から不変、四捨五入前では小幅低下した（7.21%→7.15%）。月次計数は10月：7.0%→11月：7.4%→12月：7.2%→1月：6.9%。単月の失業率が7%を下回ったのは2009年2月以来のこと。
- 同時に発表された2月の失業給付基準の失業率は3.5%に一段と低下。失業給付の申請件数も前月差▲3万5千人と16ヶ月連続で減少が続いている。労働力調査ベースの失業率は7%の到達目前で足踏みが続いているが、11月計数が抜ける次回統計では一段の低下が予想される。
- 賃金の上昇傾向も確認。全産業の週当たり賃金（除く賞与、以下同）は1月に前年比+1.8%に加速（前月は同+1.3%）。民間部門が賃金加速を牽引した（前月：同+1.6%→今月：同+2.3%）。茲許の物価上昇率の急縮小と相俟って、1月の全産業の週当たり実質賃金は同▲0.1%まで縮小（前月は同▲0.7%）。賃金の低い伸びと高インフレによる家計の実質所得の目減りに歯止めが掛かってきた。
- 同日発表された3月MPCの議事録では、景気回復の広がりを確認も、まだ相当程度の未利用資源（スラック）が残っていると判断。BOEは2月にフォワードガイダンスを修正し、失業率だけに頼らず幅広い経済指標からスラックの大きさを把握する方針に切り替えた。BOEは18日にMPCの入れ替え人事を発表。今後数ヶ月で3人の政策委員が入れ替わる。

■英国：失業率



注：労働力調査基準は3ヶ月移動平均 出所：英国統計局

■英国：週当たり賃金・賞与（全産業、前年比）



注：3ヶ月移動平均値 出所：英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2013年										2014年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
失業率（失業給付、%）	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.0	3.9	3.8	3.7	3.6	3.5	
失業給付件数（前月差、千人）	-11.8	-16.2	-29.4	-36.3	-41.6	-44.7	-42.8	-34.3	-27.7	-33.9	-34.6	
失業率（労働力調査、%）	7.8	7.8	7.8	7.7	7.7	7.6	7.4	7.1	7.2	7.2	—	
就業者数（前月差、千人）	48.0	-42.0	63.0	59.0	33.0	84.0	133.0	64.0	-4.0	45.0	—	
就業率（%）	71.5	71.4	71.5	71.6	71.7	71.8	72.0	72.1	72.1	72.3	—	
週当たり平均労働時間（前年比、%）	0.6	0.0	0.9	1.6	1.3	0.3	0.0	1.3	0.6	0.6	—	
週当たり賃金（産業計、前年比、%）	3.8	1.8	0.9	0.8	0.6	0.9	1.1	0.8	1.7	1.7	—	
賃金	1.3	1.1	0.9	1.0	0.6	0.8	1.1	0.7	1.3	1.8	—	
ボーナス	62.3	22.2	2.6	-2.2	1.3	4.3	2.8	-0.9	9.2	1.3	—	

注：労働力調査基準の失業率、就業者数、就業率、労働時間は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所：英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。